



# またかが

荻田町青少年育成町民会議だより

## 朝の声かけ運動



10月11日金曜日、小雨の降る中、馬場小学校の朝の声かけが始まりました。参加者は傘を差して、子どもたちを迎えました。「おはようございます。」と声をかけると、にっこりとほほえむ子ども、大きな声で「おはようございます。」と返してくれる子ども、とてもさわやかな登校風景です。時々、眠そうに目をこすりながら登校してくる子どももいますが、私たちの姿を見つけて小走りに校門に近づいてきます。そして、立ち止まり「おはようございます。」と言って校門の中に入っていきます。本当にほほえましく、暖かい気持ちになれる朝のいい時間です。

その中で、今日はまたうれしいことがありました。夏休み行ったイングリッシュキャンプに参加した女子児童が「イングリッシュキャンプの時の先生だ。おはようございます。」と声をかけてくれました。覚えていてくれたんですね。こんな出会いを大切にしたいものです。

朝の声かけ運動も、回数を重ねると子どもたちの顔も覚え、あいさつの声にいっそう力が入ります。元気なあいさつが荻田町いっばいに広がるよう微力ではありますが力を尽くしたいと思っております。





# 平成25年度荻田町「家庭の日」「オアシス運動」コンクール入賞者発表



ポ  
ス  
タ  
ー  
の  
部

(敬称略、順不同)



馬場小1年  
守 はなの



馬場小2年  
高橋 亜門



白川小4年  
高瀬 嵐志



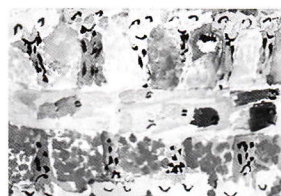
白川小4年  
小川 杏華



白川小4年  
西村 直翔



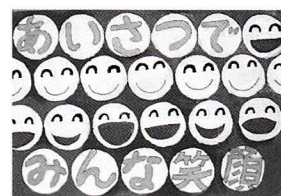
荻田小1年  
大谷 圭史



荻田小3年  
國本 和香



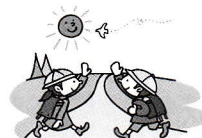
荻田小4年  
大谷 壮志



白川小4年  
松蔭 留菜



オアシス  
看板



馬場小1年  
井櫻 颯



作  
文  
の  
部

オアシス運動「あいさつから始めよう」

新津中学校1年 加藤 葵

「おはようございます」「ありがとうございます」「人と人とが話しはじめるのにきつかけとなる言葉があります。」

まず、一言から次の会話がはじまります。荻田町の小学校、中学校では月に一度保護者や、地域の方々が進学路に立ちます。通学中の子どもたちに「おはようございます」と声をかけて下さい。恥ずかしい気持ちもありますが「おはようございます」と返すと、前を向いて歩いていけるような気がします。そしてその方と次に会ったら知らん顔できないような気持ちになります。

朝、母親とケンカしたりして、家を出るときに何も言わずに行ったり、「いつてらっしゃい」を言われないと、何となく良い気がしないし、さみしい気がします。一日のスタートや会話の始まりは小さなあいさつの声かけがなくてはいいけないと思います。

私も中学生になり、部活動の一つとして朝校門に立つて登校する生徒に「おはようございます」と言っています。私は、大きな声であいさつをするのは少し恥ずかしいと思っています。けれどあいさつをして、こちらを向いて声返ってきた時、何となくうれしくて、言って良かったなとも思います。心が少し温かくなる感じがしました。

あいさつや声かけは、不思議な力があるのかもしれない。日本の言葉の中でこれだけ気持ちがある言葉に「あいさつ」があります。「ありがとう」には、不思議な力があるみたいです。人の良いところを探してあげられるような気がします。自分も言われてうれしい一番の言葉です。相手の気持ちに近づいて、コミュニケーションをスタートできるきっかけとなる言葉になつていけるように思います。

友人同志だけでなく、同じ地域の方々にも声をかけられたら恥ずかしい気持ちもありますが、うれしいと思います。

何言ない一言に始まりそしてつなげていくあいさつの言葉かけは、大人も子どもも大切にしていかなくてはいいけないと思います。電話でのあいさつは難しいのでまだ上手くできません。親に「今の言い方は変だよ」と言われるとうるさいと思いますが、心掛けていきたいです。

人のお家に行ったとき、帰るとき私の親は聞こえなくてもあいさつをしないといき続けます。

たくさんさんの会話は出来ないかもしれないけど、最初と最後のあいさつはとても大切だと思います。気は恥ずかしいと思うけれど、たまに出て入るの悪いことをしていると思う。「またいらつしゃい」と言ってもらえた時は、やっぱり笑顔になります。

今は、親の言うことがうるさく思うけれど、きっと大きくなったら自分の子どもとかに言っていきたいです。

## 他の作文入賞者

新津中1年  
引田 匠美

新津中1年  
北河 望来

新津中1年  
田上 光季

新津中1年  
藤本かのん

南原小6年  
中島 涼花

南原小6年  
柳原 和奏

南原小6年  
片山 鈴音

南原小6年  
松尾 佳歩



# 親子ふれあい広場“白石海岸で遊ぼう!!”

夏休みに入る前の7月14日、親子ふれあい広場“白石海岸で遊ぼう!!”が参加者200名で行われました。

熱中症を心配しながら参加者及び関係者共に汗だくで競技を楽しみました。かつて、苅田町に貝堀りや海水浴で親しんだ白石海岸が改めて思いおこされる一日でした。

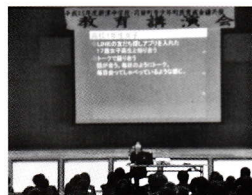
この白石海岸が親子でゆつくりと楽しみながら散策できる場になるといいなと考えながら、今年の夏の暑さを思いおこし、来年は開催時期を検討する必要があるかなと反省しています。



## 新津中学校 教育講演会 25.11.2

新津中学校全校生徒及び保護者を対象に、本校体育館にて、NPO法人子どもとメディアの小松直子先生による「携帯によるいじめをなくすために」の講演を開催しました。

小松先生はインターネットや携帯に関する様々な事件を取り上げながら、扱い方を誤ると取り返しのつかない事になるということをつかりやすく説明していただき、生徒たちも真剣に聞いていました。



### ～生徒の感想～

- ネット上(スマホやパソコン)で人がいじめにあっているのは知っていたけど、殺人などが行われていたのは知らなかったのが衝撃的でした。
- つぶやいた一言が人を死においやってしまうことが分かった。
- 少しの書き込みでいろいろな情報が盗まれるなんて危険だと思った。
- ネットの危険性を前はそこまで知らなかったけど、今日の講演を聞いて、その危険性がよく分かりました。携帯かスマホを買ったら、ルールを決めたいと思った。
- 小さい子がゲームをしているということに驚いた。そして、字を書くのと字を打つのでは脳の使われている場所が全然違うということが分かった。
- 今まで携帯を持ちたいと思っていたけど、トラブルの例などを聞いて、当分は持たなくていいと思った。

## 少年非行・シンナー等薬物乱用防止講演会開催される

1. 日 時 平成25年8月1日(木)
2. 場 所 苅田中央公民館 第5研修室
3. 講 師 福岡県警察本部生活安全部少年課  
係長 大原 公治 氏
4. 演 題 『少年非行・概要・立ち直り支援』



講演内容は、健康や生命を危うくする薬物乱用について、正しく理解し、子どもたちを守るためには、家庭、学校、地域住民、関係団体などの連携がより一層重要になってくるといったことを主なテーマとし、ご講演をいただきました。

当日大変お忙しい中、ご参加をいただいた皆様ありがとうございました。

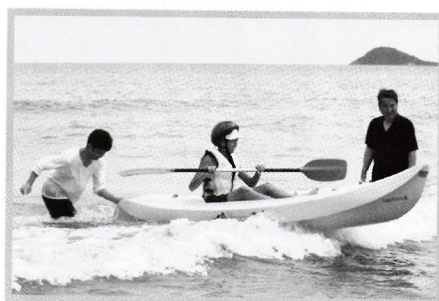
「ダメ。ゼッタイ。」と  
断る勇気を持とう。

薬物乱用を防止するために!!

- 薬物乱用の危険性は身近にあり、自分には関係ないと思わないこと。
- 誘われても「ダメ。ゼッタイ。」と断る勇気を持つこと。
- 一人で悩まないで友人や家族に何でも相談すること。



# 2013のチャレンジ体験



カヌー体験・波がこわ〜い!



うまく・・・つくかなあ〜



思い切り・・・ジャンプ



みんなでバランス・・・巨大シーソー

2013のチャレンジ体験今年も子どもたちの頼もしさを感じる夏の体験でした。仲間で成し遂げたときの表情、あふれんばかりの笑顔で「はい!チーズ」など・・・



非日常生活の中で得るものは大きいと毎度感じます。

“チャレンジ精神は体験の中で育まれ、次のチャレンジに繋がる”  
成長のきざしを感じた時、最高です。

“行いの最大の報酬は、行いをやり遂げた満足にある”



苅田町子ども会育成連合会・田口



## バア〜バアの一言

No.27

あるお店で突然、子どもの泣き声が聞こえました。耳をすまして、目で追って行きますと、子どもの理不尽な!? 乱闘シーン。昔の自分を思い出しながら、ママにがんばれと無言のエールを送りました。

若いときは、子どもに多くの事を望み、そのためにだらつ事の多いこと。それがママの姿になっていますね。今はなんて事はないと思うのに、その時は不思議ですね。皆一緒です。

今だから言えますが、最近のバア〜バアは、長い子育ての経験を得て、子どもの気持ちが解り得る日々を送っていると思います。

今日、「子どもの体験」と言う言葉を使います。「大人の体験」についてはどうでしょうか? 一歩踏み出す力、生きる喜び、自然へ感謝、人と人とのふれあい(お互い様)・・・など日常生活で成し得る事でしょうか? 「体験」を学習し、考え方の方法が多くなりもとのんびりと子どもの力を磨けば、キラキラ輝くダイヤモンドになるのではと思います。

チャンスがあれば、「子どもの体験」をしてみませんか? 子どもの立場に立つと、自分が何故か子どもに似ている事があります。その時、自然と肩の力が抜け「私は〇〇と思うよ」「あなたは?」と会話が繋がっている自分がおりました。

今の子どもは、経験不足でストレスを多くかかえています。ゲーム類で遊ぶのは、面倒くさい体験を避けていると思えません。考える力、努力する力など、達成する自尊心を高めさせましょう。

バア〜バアも突然の大病を宣告され、生きている限り薬と健康管理が必要な体になりました。ストレスが多かったのに体への労わりがなかったのでしょう。病気を境に今と昔の人生を感じています。アウトとインのスイッチが入ったようでむしろ病気になったお陰で、これからの人生が新しい一歩と感じています。

過度に望まず、適当な望みで安らいだ気持ちで過ごそう・・・と思います。





ブラスバンド部演奏 2013年度 荻田中 文化祭



最優秀賞の3年2組!!

祝 最優秀賞

# 荻田中学校文化祭



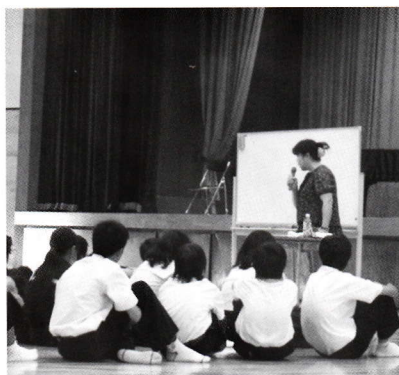
先生たちもコソに挑戦!

9月27日(金)に荻田中学校文化祭がありました。午前の部は合唱コンクール、午後の部は文化部の発表や有志によるステージ発表「フェスティバル」がありました。合唱コンクールでは、1年生は1年生らしく元気よく、2年生は昨年とは見違えるほどのうまさが有、3年生は「さすが3年生だ!」というようにどのクラスも一生懸命取り組んできた成果を発揮して荻田中学校の伝統である合唱コンクールを成功させてくれました!!

## 総合的な学習の時間での学年の取り組み

### 1年生 福祉体験学習

10月1日(火)に講師の先生を招いて、本校体育館で福祉講演会をしました!



11月26日・27日に荻田町内の福祉施設に実際に訪問し、ボランティア活動を行う予定です!!

### 2年生 職場体験学習



10月23日・24日の2日間、荻田町内を中心にいろいろな職場で実際に働く体験をさせていただきました。



### 3年生 高校出前授業



いろいろな高校の先生が荻田中に来て授業をしてくれました!!





# 『放課後子どもひろば』紹介⑥

町内6校の小学校を順に紹介させていただきます。今回は、馬場小学校です。

## チャレンジでの活動



スポーツ記録会



刈田工業高校生徒さんとの交流(卓球教室)



地域の方を指導者に迎えて(バスケ教室)



大学生との交流(西日本工業大学学生)

## 日々の活動の様子

刈田町役場 子育て支援課  
TEL 093-588-1036



みんなで仲良く遊んでいます



**ちょっと質問!!** 『ひろばの活動内容は??』

### 日頃の活動は?

日頃は、ルールの範囲内で自由な活動を行っています。自由学習に取り組む子、元気に走り回っている子と様々ですが、異学年の交流はとても盛んに行われています。

### チャレンジタイムとは?

チャレンジタイムの日は、あらかじめ計画された活動をその日の参加者全員で取り組みます。チャレンジしたい活動を選んで参加してください。馬場小ひろばではスポーツ教室が大人気です。地域のみなさまにボランティアで御協力いただきながら、活動をしています。



神幸祭補導



夏の特別補導

## 『地域の子どもは地域で守り育てる』

刈田町青少年育成町民会議では、「地域の子どもは地域で守り育てる」という強いメッセージとともに地域社会と一体になった取り組みを推進しております。

## 編集後記

寒風身に染みる季節となりました。

今新聞やテレビでは、学校教育中でもないじめや不登校、学力の低下、更には体罰等教育委員会の改革等が当面の課題です。

家庭教育では、子どもの教育の第1義務責任は、家庭にある事が明記され、父母を始めとした大人たちの生き様を子どもたちにしっかりと示しつづける事が期待されています。

この様は状況下にあつて、人と人との心を通い合わせ、住み良い地域づくり、人づくりの役割をしつづけて果たして行く事が必要です。

社会教育の充実、発展の為にスクラムを組もうでは、ありませんか。

原 育子



編集長

松枝 玲子  
濱田 勝枝  
原 育子  
田口 朝子  
金丸 晴樹  
井上 裕介

編集・発行  
刈田町青少年育成町民会議  
すこやか編集委員会

☎ 093-434-9838